

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	こども育成部 保育課
評価シート作成者	課長 岡本 隆司

評価対象施策目標（一課かい目標） **2 ニーズに合った多様な保育を行う**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとづくり
②政策目標	1 次世代の成長を喜び合えるまち
③施策目標	2 ニーズに合った多様な保育を行う
④施策の方向性	1 待機児童対策の推進 2 小学生の放課後支援の充実 3 保育サービスの質の向上

2. 施策目標の達成方針

- ・待機児童の解消を図るため、旧図書館跡地での保育園整備及び民間保育園の新設を推進します。
- ・多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育・一時預かり等の保育サービスの充実及び認可保育園や認可外保育施設への助成を実施します。
- ・民間保育園の運営費を助成することにより、経営の基盤の安定及び強化並びに入園児の処遇向上を図ります。
- ・施設が老朽化している公立保育園の保育環境を改善するため、改修整備を進めます。
- ・汐見台小学校の開校に伴い、市内で19番目の公設の児童クラブとなる汐見台児童クラブ（通称：くじらクラブ）を開所します。
- ・放課後児童健全育成事業を推進するため、香川小学校区に（仮称）香川第2児童クラブを公設施設として設置します。
- ・待機児童となり、認可外保育施設を利用する児童の保護者の経済的負担を減らすため、保育料の一部を助成します。

3. 職員配置の状況

（24年3月31日現在）

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数	
1		課長	3年 月	16	公立保育園6園	園長6人	平均4.8年	
2	保育担当	主幹	5年 月	17			最大9年	
3	保育担当	担当主査	1年 10月	18			最小2年	
4	保育担当	主査A	2年 5月	19		課長補佐6人	平均1.6年	
5	保育担当	主査B	2年 月	20			最大3年	
6	保育担当	副主査	5年 月	21			最小1年	
7	保育担当	主任A	3年 5月	22	公立保育園（小和田）	担当主査	3年 月	
8	保育担当	主任B	1年 月	23	公立保育園（保育士）	主査39人	平均3.1年	
9	保育担当	主任C	2年 月	24		副主査8人	最大10年	
10	保育担当	主事A	3年 月	25		主任4人	最小1年	
11	保育担当	主事B	1年 月	26		主事9人		
12	保育担当	主任A（再任用）	2年 月	27	公立保育園（技能労務）	副主査6人	平均2.8年	
13	保育担当	主任B（再任用）	1年 月	28		主任2人	最大5年	
14	児童クラブ担当	課長補佐	2年 月	29		技能労務員3人	最小1年	
15	児童クラブ担当	副主査	2年 月	30	公立保育園（技能労務）	副主任（再任用）4人	平均1.5年	
職員数計 103名（うち常勤 97名・再任用 6名）外 非常勤嘱託 名・臨時 194名・その他 3名								

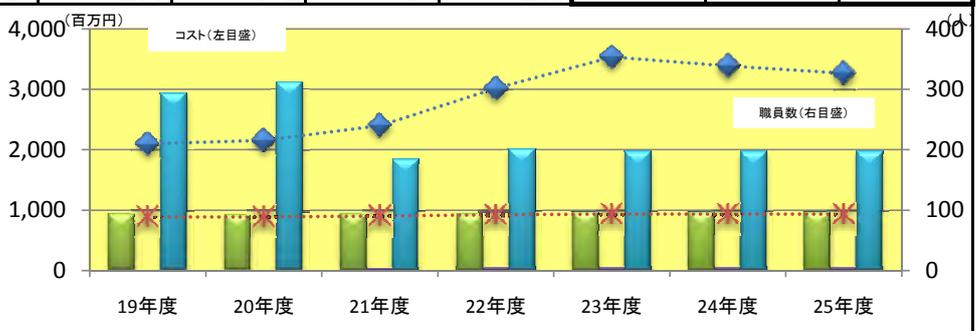
4. 施策推進コスト

（単位：事業、職員10人千円/職員数人）

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	2,988,418	3,043,447	3,306,224	3,941,487	4,471,357	4,322,351	4,199,761
財源内訳							
特定国庫支出金	726,954	724,811	741,296	1,220,120	1,114,331	1,239,424	1,025,486
地方債			19,600	26,200			
その他	611,549	600,481	627,267	636,185	673,053	751,149	641,090
一般財源	1,649,915	1,718,155	1,918,061	2,058,982	2,683,973	2,331,778	2,533,185
事業実施に係るコスト b（折れ線グラフ）	2,100,010	2,156,958	2,403,438	3,018,120	3,537,104	3,388,098	3,265,508
うち委託料	88,252	92,164	169,529	236,310	245,467	419,808	377,672
従事職員に係るコスト c（折れ線グラフ）	888,408	886,489	902,786	923,367	934,253	934,253	934,253
常勤職員数（棒グラフ左）	93	92	93	94	97	97	97
再任用職員数（棒グラフ中）			5	6	6	6	6
非常勤・臨時等職員数（棒グラフ右）	293	312	184	200	197	197	197

（備考）

平成19・20年度の非常勤・臨時等職員数については、1人あたりの任用期間を短く区切っているため多くなっていますが、実人数にすると各年度において人数の変動は少なくなっています。決算額について、22年度は前年度から約6億円増額となっていますが、新たに4園の民間保育園の建設への補助を行ったため、23年度は前年度と比べ約5億円増額となっていますが、中海岸保育園の建設及び民間保育園建設補助の継続と保育園の施設数の増加に伴う運営費等が増額したことが主な理由です。



5. 施策目標の達成状況

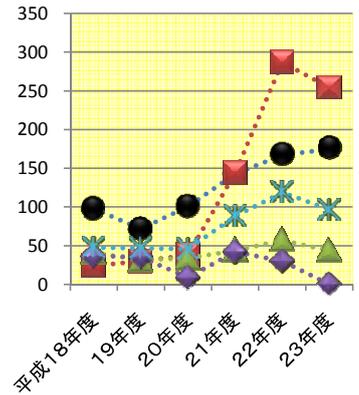
No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
			—	—	—	—	—	目標値
			現状値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値
			—	—	—	—	—	100%
1	保育園の待機児童数 入園できない申込済の児童から、私 的な理由で特定の保育園のみで待機 している児童等を除いた人数	人	—	143	167	175	180	25
			—	—	—	-27.1%	-31.4%	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 神奈川県次世代育成課調べ

団体名\年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	98	72	101	143	167	175
■藤沢市	24	30	38	144	287	254
▲鎌倉市	41	32	34	44	57	44
◆平塚市	37	35	9	42	30	0
*大和市	48	47	46	88	119	97

(指標の進捗状況分析)

待機児童数については減少となるべき目標達成の方向とは反対に増加しています。今後においても、これまでと同様に、引き続き保育園の施設整備を進めていく必要があります。



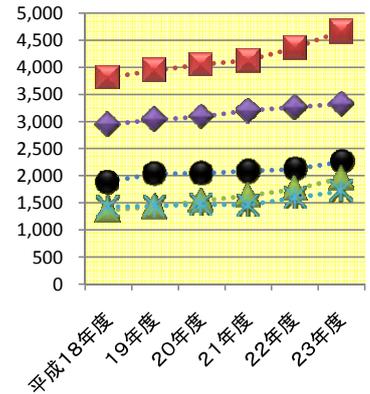
No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
			—	—	—	—	—	目標値
			現状値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値
			—	—	—	—	—	100%
2	入園児童数 保育園に入園している 児童数	人	—	2,085	2,123	2,259	2,399	2,400
			—	—	—	55.2%	99.7%	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 電話聞き取り調査

団体名\年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	1,891	2,042	2,048	2,085	2,123	2,259
■藤沢市	3,810	3,940	4,051	4,125	4,357	4,663
▲鎌倉市	1,364	1,428	1,541	1,634	1,752	1,959
◆平塚市	2,947	3,034	3,091	3,206	3,263	3,330
*大和市	1,425	1,442	1,468	1,461	1,588	1,714

(指標の進捗状況分析)

入園児童数については、25年度目標達成に向けて順調に推移していますが、待機児童数が増加していることを考慮すると、保育園の施設整備を引き続き進めていく必要があります。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名(会計区分)	指標名						
	事業概要	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
		事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
		目標値	—	—	目標値	目標値	目標値
指標単位	実績値	実績値	実績値	—	—		
	達成率	—	—	達成率	—	—	
<b>1 待機児童解消のための公設による保育園整備拡充</b>	事業の進捗状況						
保育園待機児童の解消を図るとともに保護者の多様な保育ニーズに対応するため、複合施設として旧図書館跡地に公設民営の中海岸保育園を建設します。また保育園の運営を行う指定管理者を6月議会定例会において指定し、24年4月開園の準備を行います。	決算 6,918	決算 26,191	決算 486,200	予算 0	計画 0		
	—	—	工事	整備完了	—		
	—	実施設計等	工事	—	—		
	—	—	達成	—	—		
<b>2 待機児童解消のための民間保育園整備拡充</b>	民間保育園数						
安心して子どもを生み育てることのできる環境を整備・拡充し、待機児童の解消を図るため、施設整備を行う民間保育園に対して施設整備費を助成します。22年度から23年度にかけて1園の新設、23年度から24年度にかけて1園の新設と2園の増改築、また24年度には1園の新設により、194人の定員増を図ります。	決算 0	決算 376,295	決算 114,198	予算 270,123	計画 139,470		
園	—	—	17	18	18		
	—	—	16	—	—		
	—	—	94.1%	—	—		
<b>3 認可外保育施設における一時預かり事業の助成</b>	補助施設数						
多様な保育ニーズに対応するため、国で定めた基準を満たした認可外保育施設のうち、緊急かつ一時的に保育を必要とする児童を預かる施設に対して補助を行います。23年度は6か所に対して補助しました。	決算 —	決算 —	決算 6,366	予算 6,366	計画 4,520		
施設	—	—	3	3	3		
	—	—	6	—	—		
	—	—	200.0%	—	—		
<b>4 放課後児童健全育成事業</b>	児童クラブ設置数						
児童クラブの全小学校区への公設化は、平成22年度で終了しましたが、長期的に児童の増加が見込まれる香川小学校区の児童に対応するため、さらに1か所の児童クラブを公設施設として設置します。	決算 226,586	決算 232,624	決算 212,904	予算 207,178	計画 228,012		
人	—	—	23	24	24		
	—	22	24	—	—		
	—	—	104.3%	—	—		
<b>5 認可外保育施設利用者の保育料助成</b>	助成人数						
認可保育園の入園用件を満たし、現に認可外保育施設に入所している待機児童の保護者の経済的負担を減らすため、認可保育園に比べて高額な保育料の一部を助成します。23年度は191人に対して助成しました。	決算 —	決算 —	決算 8,435	予算 9,000	計画 30,000		
人	—	—	190	250	250		
	—	—	191	—	—		
	—	—	100.5%	—	—		

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている
② これまでの取り組みと成果	<p style="text-align: center;">25年度目標値達成可能 <span style="margin-left: 100px;">25年度目標値達成困難</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童解消のための保育園の整備拡充として、平成18年度から平成23年度にかけて新設6園、増改築3園について補助・建設を行ってきたことにより、保育園の定員が520人増加しました。</li> <li>多様な保育ニーズへの対応については、延長保育や特定保育、一時預かり事業の推進するため、民間保育園や認可外保育施設に対して補助金を安定的に支出できるよう予算措置を行ってきました。また、公立保育園では休日保育や延長保育を実施してきた。これにより、23年度末時点で、延長保育は23園(全園)、特定保育は2園、一時預かりは認可保育園で5園、認可外保育施設で6か所、休日保育は公立保育園2園で行い、保育サービスの充実を図ることができました。</li> <li>民間保育園の運営費助成については、運営の基礎となる運営費・運営費補助金を安定的に支出できるよう予算措置を行ってきました。これにより、民間保育園では、経営基盤の安定及び強化並びに入所児童の処遇向上、自主的な施設経営を促進、保育士の十分な配置と保育内容の向上を目的とした研修の充実を図ることが可能となりました。17園(民間保育園全園)に対して支出してきました。</li> <li>公立保育園の保育環境の改善・充実を図り、利用者も保育スタッフも安全・安心で快適に過ごせるようにするため、老朽化している施設の改修整備を進めました。平成23年度においては、安心ことも交付金や子育て支援事業市町村交付金等を活用し、すべての公立保育園の改修・備品整備を行いました。</li> <li>児童クラブの安定運営を目指した委託団体との協議や指導員の資質向上のための研修を開催してきました。また、平成23年度においては、長期的に児童の増加が見込まれる香川小学校区の児童に対応するため、さらに1か所の児童クラブを公設施設として設置しました。</li> <li>新たな事業として、平成23年度より認可保育園の入園用件を満たし、現に認可外保育施設に入所している待機児童の保護者の経済的負担を減らすため、認可保育園に比べて高額な保育料の一部の助成を実施し、23年度は191人に対して助成しました。</li> </ul>
③ 課題認識と解決への方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童解消のための保育園の整備拡充については、平成18年度時点より定員が520人増加したことについては大きな成果がありますが、待機児童数は180人となり、減少せず増加が続いており、目標からは遠ざかる方向となっています。昨今の経済状況の低迷による女性の就労機会の増加や、核家族化などに伴う子育て困難家庭の増加、また、定員枠の拡大が潜在的な保育需要を新たに喚起する側面があることから、定員を増加させても待機児童の解消がなかなか進みません。しかし、保育園が必要とされていることは明らかであり、保育需要は就学前児童数の増減によらず、今後も高まっていくものと思われます。保育園の不足は子育て世帯に対する影響が大きく、今後についても、喫緊の課題として引き続き保育園の施設整備を継続していく必要があります。平成24年度は、2園の新設と、2園の増改築により164人の定員増を図る予定です。</li> <li>また、待機児童解消の一環として「家庭的保育事業」を実施しており、平成23年度末で12人の児童を預かっています。24年度には、保育者3人のグループで保育を行う「グループ型小規模保育事業」を採り入れ、利用拡大を図る予定です。</li> <li>多様な保育ニーズに対応するための保育サービスは、さらに充実させる必要があるため、実施施設数や保育メニューを増やしていくことが求められます。平成24年度は、公設民営の中海岸保育園において、特定保育や一時預かりに加えて、病後児保育、これまでの1時間保育を拡大した2時間の延長保育、産休明け保育を新たに行うこととします。また、他の民間保育園においても、延長保育は新規保育園で2園、特定保育は既存保育園で1園、一時預かりは新規保育園で1園、既存保育園で1園新たに行う予定です。</li> <li>民間保育所運営費及び民間保育所運営補助金については、児童福祉法で定める保育所最低基準を順守するため、また保育サービスの向上を図るための取り組みに必要な最低限の費用です。しかし、保育士の十分な配置や老朽化した施設の改修などによる充実した保育環境を維持しながら安定した保育園の運営を確保するには、増加する保育園に伴い、運営費や運営費補助金などの支出も同様に増加していくこととなります。引き続き予算を確保しながら、新設等により保育園定員を拡大していくことが求められます。</li> <li>公立保育園は、施設の老朽化等に伴い改修が必要となります。保育を実施しながらの改修となり、制限がある中で必要な改修を進める必要があります。</li> <li>児童クラブの安定運営と指導員の資質向上が重要となってきているため、平成24年度において、25年度開始を目途として指定管理者の指定を施設ごとではなく一括して行うことにより、実情に応じた業務委任を目指します。指定管理者の公募方法及び委任業務の内容、指定管理料の算定方法の見直しが必要となるため、準備を整える必要があります。</li> <li>認可外保育施設利用者の保育料助成は、2年目となる事業であり、今後も継続する方向で展開を図ることが必要です。予算を確保し、対象者への周知のための広報を行うとともに、利用しやすいように手続き方法の改善や事務処理の効率化を検討する必要があります。</li> </ul>
④ 議会等からの指摘・要望事項	

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)    2,403,438    3,018,120    3,537,104    3,390,423    3,265,508

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	待機児童解消のための公設による保育園整備拡充		6,918	26,191	486,242	0	0
2	一般会計	1	待機児童解消のための民間保育園整備拡充		0	376,295	114,198	262,373	139,470
3	一般会計	2	(仮称) 茅ヶ崎市宮小和田住宅等複合施設整備事業				0	0	0
4	一般会計	2	放課後子どもプランの推進				0	0	0
5	一般会計	2	放課後児童健全育成事業		226,586	232,624	212,904	207,178	228,012
6	一般会計	3	保育士等研修事業				0	0	0
7	一般会計	3	災害時メール配信事業				148	644	0
8	一般会計	3	浜見平保育園管理運営事業				0	0	0
9	一般会計	3	家庭的保育事業			6,927	12,155	18,138	26,093
10	一般会計	3	民間保育所運営補助事業		259,646	281,805	395,006	356,608	333,723
11	一般会計	3	民間保育所等運営事業		1,525,501	1,644,056	1,721,881	1,871,462	1,888,642
12	一般会計	3	公立保育園施設改修・整備事業				115,142	0	23,000
13	一般会計	3	中海岸保育園管理運営事業					176,968	154,618
14	一般会計	3	ふれあい保育補助事業			57,432	65,595	55,251	0
15	一般会計	3	一時預かり事業		5,184	4,590	3,942	5,940	6,588
16	一般会計	3	延長保育促進事業費補助事業		84,557	90,358	113,961	124,107	109,251
17	一般会計	3	休日等保育事業		161	272	345	363	794
18	一般会計	3	公立保育園の地域子育て支援事業				0	0	0
19	一般会計	3	社会福祉法人施設整備費補助事業		5,359	5,208	4,912	7,750	6,500
20	一般会計	3	特定保育事業費補助事業		4,644	4,428	4,428	5,670	9,828
21	一般会計	3	届出保育施設補助事業		3,939	4,533	12,154	3,361	4,035
22	一般会計	3	認可外保育施設における一時預かりの助成				6,366	6,366	4,520
23	一般会計	3	認可外保育施設利用者の保育料の助成				8,505	9,000	30,000
24	一般会計	3	認定保育施設補助事業		36,709	43,949	49,105	46,049	64,995
25	一般会計	3	民間保育所施設整備借入償還金補助事業		24,202	26,002	31,291	39,102	50,077
26	一般会計	3	保育に関する管理事業		112,664	108,469	103,675	116,514	110,297
27	一般会計	3	保育園管理事業		58,124	55,778	26,634	26,836	24,408
28	一般会計	3	児童指導育成事業		44,813	44,698	44,843	46,050	46,005
29	一般会計	3	児童健康管理事業		2,522	2,523	2,523	2,535	2,535
30	一般会計	3	障害児保育推進特別強化対策事業		1,608	1,678	839	1,678	1,678
31	一般会計	3	保育園収納事務事業		119	113	125	204	204
32	一般会計	3	保育料口座引き落としに関する事務		182	191	185	276	235
33	一般会計	0	庁内共通事務						
34	一般会計	0	災害応急対策活動						
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		2,403,438	3,018,120	3,537,104	3,390,423	3,265,508

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1						—	—
2						—	—
3						—	—
4						—	—
5						—	—
6						—	—
7						—	—
8						—	—
9						—	—
10						—	—
11						—	—
12						—	—
13						—	—
14						—	—
15						—	—
			小計(ウ)	0	0	—	—

(備考)